

受動部品事業について

取締役
常務執行役員

荒谷 真一

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

受動部品事業

民生機器、自動車及び産業機器など幅広い分野で増加

	2010年3月期 第1四半期		2011年3月期 第1四半期		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	%
コンデンサ	28,812	35.9	37,985	36.1	9,173	31.8
インダクティブ・デバイス	24,758	30.9	32,513	30.9	7,755	31.3
その他受動部品	26,653	33.2	34,583	32.9	7,930	29.8
受動部品 計	80,223		105,081		24,858	31.0

主要製品概況

- 積層セラミックコンデンサ:自動車、通信機器を中心に増加
- アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ:産業機器を中心に増加
- インダクティブ・デバイス:自動車、通信機器、情報家電など幅広い分野で増加
- その他受動部品
 - ✓ 高周波部品:通信機器向けに増加
 - ✓ 圧電材料部品、回路保護部品、センサ:自動車、産業機器分野を中心に増加

◆ 2011年3月期第1四半期 収益改善進捗状況

- ✓ 国内製造拠点の集約による合理化効果
- ✓ 生産性改善による変動費削減効果
- ✓ 稼働率アップによる増産効果
- ✓ 受注製品ミックスの改善効果



収益力改善

セラミックコンデンサ 第2四半期以降の施策

➤ 拠点戦略

- ✓ 海外テーピング拠点集約: 8拠点→4拠点へ
(Q1: 2拠点集約済、Q2: 2拠点集約完了予定)
- ✓ 長安/中国での後工程生産本格化

➤ 製造戦略

- ✓ 新設備稼働による増産及びコスト低減
- ✓ 材料内製化拡大によるコスト低減

➤ 製品戦略

- ✓ 製品ラインアップの拡充

- ◆ 成長力の強化
- ◆ 更なる収益力の改善



本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。